

第4回まち・ひと・しごと創生推進会議議事録

<p>事務局 (道下)</p>	<p>●開 会</p> <p>ご案内いたしました時間がまいりましたので、只今から第4回普代村まち・ひと・しごと創生推進会議を開会させていただきます。</p> <p>委員の皆様には、公私共にご多忙のところ、本会議にご出席をいただき、誠にありがとうございます。</p> <p>進行を務めさせていただきます、地域創生室の道下と申します。どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>本日は、昨年10月29日に策定いたしました、普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略の事業進捗状況や今後の事業推進に関し審議を行っていただき、効果検証作業が会議の内容となりますので、十分なるご審議、ご提言など賜りますようよろしくお願いを申し上げます。</p> <p>また、昨年4月1日に連携協力に関する協定の締結を行いました、追手門学院大学の学生の皆様も参加しております。学生の皆さまは、昨年8月に村に1週間ほど滞在をし、村の地域課題について研究してまいりました。本日は、その地域課題解決に向けたプレゼンテーションを事業発表として行っていただくこととしておりますので、よろしくお願いいたします。</p> <p>次に、本日配布しております資料について確認をさせていただきます。</p> <p>資料1、普代村まち・ひと・しごと創生推進会議委員名簿。 資料2、普代村まち・ひと・しごと創生推進会議設置要綱。 資料3、追手門学院大学との連携協力事業の概要。 資料4、普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略。 資料5、平成27年度事業（地方創生先行型交付金）の進捗状況。 資料6、普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略の進捗状況。 資料7、普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略アクションプラン。</p> <p>資料は以上となっております。後ほど、順次、議事進行の中で使わせていただきますが、不足等ございませんでしょうか。</p> <p>無いようであれば、次第2、村長挨拶をお願いいたします。</p>
<p>村長</p>	<p>●村長挨拶</p> <p>会長はじめ、委員の皆さまには、公私共にご多忙のところ、また、年度末にもかかわりませず、本会議にご出席をいただき、厚く御礼を申し上げます。</p> <p>皆さまにおかれましては、昨年6月の第1回会議から9カ月間にわたり、この会議に参画をくださり、普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略の策定に向けて、専門的なお立場から様々なご意見等を賜りました。お陰様をもちまして、昨年10月29日には、普代村人口ビジョン並びに普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定させていただきました。これまでのご尽力に衷心よりの感謝を申し上げます。</p> <p>本日の会議は、今年度行ってまいりました地方創生先行型事業等の進捗状況</p>

	<p>に対し、効果検証をお願いしているところと伺っております。施策の効果を専門的かつ客観的視点により検証をいただき、改善施策を実行するサイクルの仕組みを構築し、効果を最大化させてまいりたいと考えておりますので、忌憚のないご意見等を賜りますよう、お願いを申し上げます。開会にあたっての挨拶とさせていただきます。</p> <p>なお、本日は、追手門学院大学の学生による地方創生プレゼンテーションもごございます。今後の施策推進につなげてまいりたいと考えておりますので、山本先生をはじめ、学生の皆さん、どうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>以上、私からの挨拶とさせていただきます。</p>
事務局 (道下)	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に、次第3の事業発表に移らせていただきます。</p> <p>大阪府の追手門学院大学様とは、昨年4月23日に連携協力に関する協定を締結させていただきました。昨年8月に1週間ほど本村に滞在をし、地域課題の研究に取り組んでいただき、この度、研究の成果として、村の移住定住施策への提言をいただく運びとなりました。</p> <p>それでは、追手門学院大学の皆さま、よろしくお願いいたします。</p>
追手門学院 大学	<p>●事業発表</p> <p>[パワーポイントによる発表]</p> <p>別添のプレゼンテーション資料のとおり</p>
事務局 (道下)	<p>ありがとうございました。</p> <p>[事務局の感想]</p> <p>せっかくの機会でございますので、委員の皆さまから、ご感想やご質問などございましたら、よろしくお願いいたします。いかがでしょうか？</p>
佐々木委員	<p>○こんぶ饅頭は未利用資源の活用、すき昆布は素材自体の消費・販路拡大に取り組んでいる。すき昆布をどのように消費・販路拡大を図っていけばよいかの提言等はあるか？</p>
学生 村長	<p>○すき昆布については考えておらず今後、一緒に考えていければと思う。</p> <p>○2点目のプレゼンについて、普代村では12年間同じメンバーで生活している。このような中、追手門学院の小学生と村の小学生の交流とかそのような取組みにより将来的な柔軟なコミュニケーション能力形成を図る取組みの考え方はいかがか？</p>
学生	<p>○追手門学院と村内小学校との交流事業、孤立するリスク等の軽減が図られると考えられることから自分としては実施してみたい。</p>
高屋敷委員	<p>○私も先日、島根県海士町に視察に行ってきた。プレゼンにある村への高校生の設置の考え方は非常に良いと思う。海士町は離島で、また、そもそも高校が存在していた。普代村の場合どういった特徴をもった学校として取り組んでいけばよいか？</p>
学生	<p>○どういったものでも、できるだけ差別化が図られる教育の取組みを図ってい</p>

事務局	<p>ければと思います。</p> <p>本日、午後 5 時 30 分からの発表もごございますので、質疑は以上ということでもよろしくお願いいいたします。以上で、事業発表を終わります。</p> <p>追手門学院大学の皆さま、ありがとうございました。</p> <p>それでは、5 分間の休憩といたします。</p>
事務局 (道下)	<p>次に、次第 4 の協議事項に移らせていただきます。</p> <p>設置要綱第 6 条に基づき、これからの議事進行につきましては佐々木会長にお願いしたいと思います。佐々木会長、よろしくお願いいいたします。</p>
会長	<p>●協議事項</p> <p>それでは、協議事項に入ります。</p> <p>協議事項、(1) の普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る事業進捗状況等について、事務局からの説明をお願いいたします。</p>
事務局 (中村)	<p>地域創生室、中村と申します。どうぞ、よろしくお願いいいたします。</p> <p>(1) の普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る事業進捗状況等について、資料 4、資料 5 を使用し、説明をさせていただきます。</p> <p>普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略につきましては、委員の皆様のご協力により昨年 10 月 29 日に策定されました。</p> <p>国の 26 年度補正予算による地方創生先行型交付金事業や、継続実施している子育て支援事業、結婚対策事業、担い手育成事業などは平成 27 年 4 月より事業が実施されているところをごさいますし、現在も進行中の事業もごさいます。</p> <p>今回は、概ね完了した平成 27 年度事業（地方創生先行型交付金）の進捗状況について、ご説明をさせていただきます。</p> <p>資料 5 をご覧ください。</p> <p>平成 26 年度国の補正予算でございませう地方創生先行型交付金を活用し 9 事業を実施いたしました。</p> <p>左側欄に総合戦略で目指す、基本目標、施策の方向性を明示し、中央にそれぞれの事業名称を紐付けております。</p> <p>はじめに、基本目標 1 の「地域における安定した雇用を創出する」ための事業、3 事業でございませう。</p> <p>1 つ目の事業ですが、「ふだいの産業魅力アップ事業」でございませう。総合戦略における施策の方向性は、施策 3 の「つくり育てる産業の推進」でございませう。事業内容は、地域資源の価値の向上、「青の国ふだい」のブランドイメージの定着・向上を目的とした商品開発・販路開拓支援事業です。本事業の重要業績評価指標、いわゆる K P I ですが、商品化件数 3 件、新規取引件数 5 件のそれぞれの目標値を達成いたしました。（具体的商品化は、普代漁協さんのきざみ昆布パッケージと長切昆布パッケージ、水産加工会社さんの製品用のしおりの制作を支援しております。また、新規取引先としては、土風館、イオンもりおか、銀河マルシェ、結の市、銀河プラザとなっております。）</p> <p>次に 2 つの事業となります、「普代村新卒者等雇用促進奨励金事業」と「普代</p>

村新規漁業者支援協議会補助金事業」でございます。総合戦略における施策の方向性は、施策4の「労働人口の確保」でございます。事業内容は、新卒者、移住者の地元定着を目的とした雇用者に対する奨励金制度事業と漁業の担い手確保を目的とした広範の関係者で組織する協議会補助金事業です。本事業のKPIですが、「普代村新卒者等雇用促進奨励金事業」は新卒者雇用人数2人に対し3人、移住者雇用人数1人に対しゼロと概ね目標値を達成いたしました。「普代村新規漁業者支援協議会補助金事業」は新規漁業相談件数5人に対しゼロとなっておりますが訂正をお願いいたします。現時点では3人という状況となっております。(雇用先は、漁協さん1名、普代福祉会2名、漁業相談者は、村外2名、村内1名という状況となっております。)

資料4の25、26ページをお開き願います。

以上の個別事業の取組みの継続などにもより、施策3の「つくり育てる産業の推進」のKPI、チャレンジ制度活用数、また、施策4の「労働人口の確保」のKPI、支援制度活用件数の増加を図ってまいります。

24ページをお開き願います。

そして、施策の積極的な推進により、最終的に新規雇用の場の創出数、施策推進による新規雇用者数の目標値の達成に努めてまいります。

資料5をご覧ください。

次に、基本目標2の「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」ための事業、1事業でございます。

「はまゆり子ども園給食費支援事業」でございます。総合戦略における施策の方向性は、施策4の「子どもの夢・希望と新たな子育て生活環境の創造」でございます。事業内容は、さらなる子育て世代への経済的安定により、子どものための新たな生活環境を創造していただくことを目的とした、はまゆり子ども園給食費実費分を商品券で支援する事業です。本事業のKPIですが、子育て世帯転入数1世帯の目標値を達成いたしました。(支援件数等は、4,000円×12ヵ月×80人=3,840,000円÷1人当たり48,000円/年)

資料4の28ページをお開き願います。

以上の個別事業の取組みの継続などにもより、施策4の「子どもの夢・希望と新たな子育て生活環境の創造」のKPI、支援制度活用による村内への定着者数の増加を図ってまいります。

27ページをご覧ください。

そして、施策の積極的な推進により、最終的に出生数、合計特殊出生率、婚姻数の目標値の達成に努めてまいります。

資料5をご覧ください。

最期に基本目標4の「地域への新しい人に流れをつくる」ための事業、3事業でございます。

1つ目の事業ですが、「学官連携で推進するおためしU愛Jターン支援事業」

でございます。総合戦略における施策の方向性は、施策2の「移住定住者の多様なニーズへの対応」でございます。事業内容は、追手門学院大学さんとの学官連携における今後の移住・定住・交流施策の検証・推進を目的とした事業です。本事業のKPIですが、おためし移住体験者数10人に対し32人と目標値を達成いたしました。（具体の事業実績は、おためし移住体験施設（自然体験学習施設）の改修整備、追手門学院大学さんとの連携事業、おためし移住ツアー造成・受入に係る交通費助成25人、先進地視察事業となっております。また、おためし移住施設利用者は、追手門学院大学さん5名、武蔵野大学さん2名、その他おためし移住ツアー25名の計32名となっております。）

次に3つの事業となります、「青の国ふだいファン会員登録制度事業」と「地域資源発掘周遊観光バス運行事業」と「地域資源発掘周遊観光バス整備事業」でございます。総合戦略における施策の方向性は、施策3の「輝く地域資源の創造」でございます。事業内容は、持続的な人の流れの創出を目的とした地域資源を活かした普代ファンの会員登録制度事業と優れた観光資源を改めて磨き上げることが目的とした観光客向けのバスの実証試験運行事業です。本事業のKPIですが、「青の国ふだいファン会員登録制度事業」は会員登録者数100人に対し現在44人という状況となっております。「地域資源発掘周遊観光バス運行事業」は観光客バス利用者数1,020人に対し266人という状況となっております。

「地域資源発掘周遊観光バス整備事業」については、上記の「地域資源発掘周遊観光バス運行事業」のKPIとなる利用者実績や試験運行を検証した中で、昨年10月に追加で事業申請・実施をし、現在、新たなバスの整備が終わり、新年度より運行形態も見直した中で運行する予定としております。

最後に、「宿泊施設WiFi環境構築事業」でございます。総合戦略における施策の方向性は、施策4の「誘客拡大に向けた観光力強化」でございます。事業内容は、外国人観光客の増加に対応可能となるように村の宿泊施設である国民宿舎くろさき荘にWiFi環境を整備する事業です。こちら、昨年10月に追加で事業申請・実施をし、3月より運用を開始しております。

資料4の33ページをお開き願います。

以上の個別事業の取組みの継続などにもより、施策2の「移住定住者の多様なニーズへの対応」のKPI、移住体験者数、また、施策3の「輝く地域資源の創造」のKPI、既存資源を活かした新たな地域資源への転換数の増加を図ってまいります。

32ページをお開き願います。

そして、施策の積極的な推進により、最終的に転出入者数の均衡、観光入込客数の目標値の達成に努めてまいります。

以上、普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略に係る事業進捗状況等についての説明とさせていただきます。現時点でも、進行している事業などもございまして、PDCAサイクルの、D実行の最中であり、皆様方からご意見を賜る

	<p>Cの評価作業、Aの改善作業の題材に至らない部分ございますが、どのようなご意見でもかまいませんので、何卒ご審議のほどよろしくお願ひいたします。</p>
<p>会長</p> <p>下橋場委員</p> <p>事務局</p> <p>高屋敷委員</p> <p>事務局</p>	<p>ありがとうございます。以上で事務局からの説明が終わりました。</p> <p>ただいまの説明は、今年度に行いました地方創生先行型事業についてであります。何かご意見・ご質問等がございますでしょうか。</p> <p>バスの目標値に対する実績が低い状況となっているが1日当りの乗車人数を伺う。</p> <p>〈事業内容について再度説明〉1日当りの乗車人数は、8人程度（1便1名）の状況となっている。このような状況を踏まえて、今年度、バスを購入し村の光素材をPRするラッピング等を施し、次年度より、土、日、祝日の通年運行としながら運行経路を見直しながらの運行を予定し、利用者数の増加につなげたい。</p> <p>「青の国ふだい」ファン会員登録制度事業の会員の状況と、効果についてお伺ひします。</p> <p>ファン会員については、普代村観光大使を第1号として現在44人となっております。また、先般開催した3.11の追悼イベントへも福島県の会員の方がわざわざ普代村までお越しいただくなど関係人口の構築が図られていると感じています。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご意見・ご質問等がございますでしょうか。</p> <p>ご意見等無いようであれば、協議事項（1）については、よろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なしの声」〕</p> <p>それでは、次の協議事項に進みます。</p> <p>（2）の普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業の今後の展開について、事務局からの説明をお願いいたします。</p>
<p>事務局 （中村）</p>	<p>（2）の普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業の今後の展開について、資料6と資料7を使用し、説明をさせていただきます。</p> <p>資料6をご覧ください。</p> <p>こちらの資料は、普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略の基本目標、具体的な施策に紐付けられた、それぞれの重要業績評価指標（KPI）の目標値でございます。</p> <p>前段の協議事項で説明いたしました、平成27年度に実施いたしました、個別事業の2月末時点での総合戦略の進捗状況となります。</p> <p>上段から基本目標ごとに説明させていただきます。</p> <p>1の「地域における安定した雇用を創出する」においては、2月末現在では、新規雇用の場の創出数はありませんが、施策推進による新規雇用者数は、「普代村新卒者等雇用促進奨励金事業」の実施により3人となっております。</p> <p>今後の4年間で、新規雇用の場の創出数を4箇所、施策推進による新規雇用者数を47人を達成する個別施策の推進が必要となっている状況にあります。</p>

2の「若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる」においては、2月末現在で、出生数5人、婚姻数6組となっております。なお、合計特殊出生率は現段階では正式公表されているものがございませんので未記入とさせていただきます。

今後の4年間で、出生数を115人、婚姻数を54組を達成する個別施策の推進が必要となっている状況にあります。

3の「時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地域と地域を連携する」においては、2月末現在では、地域活動団体（NPO等）設立数ゼロ、要介護（要支援）認定者数49人となっております。

今後の4年間で、地域活動団体（NPO等）設立数を1団体増加、要介護（要支援）認定者数を抑制する個別施策の推進が必要となっている状況にあります。

4の「地域への新しい人の流れをつくる」においては、2月末現在では、転出入者数の均衡（社会増減ゼロ）は転入16名超過となっております。なお、観光入込客数は毎年8月に正式公表されますので未記入とさせていただきます。3月の転出数の増加が懸念される状況ですが、今後の定住施策、また、移住施策の推進が必要となっている状況にあります。

次に資料7をご覧ください。

10月29日に策定した、総合戦略における資料編としてアクションプラン(案)を掲載させていただきました。その後、総合戦略事業も加えた、村全体のH28～H32までの総合開発計画策定作業に取り組んでまいりました。

作業工程につきましては、10月30日～11月10日まで、各課室等の個別事業ヒアリングを実施し、11月20日に幹部職級による事業検討会、12月4日に村長ヒアリングを経て、12月14日に中間（案）として取りまとめ12月15日に議会説明をさせていただきました。1月～2月上旬の予算編成作業を終え2月10日に正式計画として決定した内容となります。

総合戦略は、H27～H31の計画となりますが、本アクションプランにおいては、H32をも見据え引き続き取り組んでいく計画となっております。

上段から基本目標ごとに説明させていただきます。

基本目標1 地域における安定した雇用を創出するでは、全14事業、概算事業費808,413千円を計画しております。主な事業といたしましては、施策1における観光センター等駅周辺整備事業や施策2のふだいまちづくり会社設立推進事業などを見込んでおります。

基本目標2 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえるでは、全11事業、概算事業費280,779千円を計画しております。主な事業といたしましては、施策3の子どもを授かりたい方への助成事業や施策4の子育て応援村！普代村新奨学金制度事業などを見込んでおります。

基本目標3 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守るとともに、地

	<p>域と地域を連携するでは、全9事業、概算事業費 875,901 千円を計画しております。主な事業といたしましては、施策2の地域活動拠点施設整備事業やまちなかサロン運営事業、施策3の公共施設サテライトオフィス化改修整備事業などを見込んでおります。</p> <p>基本目標4 地域への新しい人の流れをつくるでは、全13事業、概算事業費 621,941 千円を計画しております。主な事業といたしましては、施策1の空き家利活用促進事業、施策3の観光力強化促進事業などを見込んでおります。</p> <p>以上、普代村まち・ひと・しごと創生総合戦略事業の今後の展開についての説明とさせていただきます。</p> <p>なお、村においては、次年度より本アクションプランの着実なる事業執行をしてまいりたいと考えておりますので、委員の皆様からは本アクションプランの事業成果を踏まえた中で、今後における評価・改善へのご意見を賜りたいと存じます。</p> <p>本日は、具体の事業内容についてでも結構ですのでご意見等いただければと思いますので、ご審議のほどよろしくお願いいたします。</p>
<p>会長</p>	<p>ありがとうございます。以上で事務局からの説明が終わりました。</p> <p>総合戦略事業の今後の展開について説明をいただきましたが、何かご意見・ご質問等は、ございませんでしょうか。</p> <p>私から2点よろしいでしょうか。</p> <p>総合戦略では基本目標を4つ掲げている訳ですが、特にも、基本目標の1の地域における安定した雇用を創出するは、少子高齢化の進行による後継者不足、担い手問題など、人口減の抑制に重要な取り組みであると思います。</p> <p>その中で、村は、施策1に掲げる「観光センター等駅周辺整備事業」により、新規起業者を4団体、また、施策2に掲げる「ふだいまちづくり会社設立推進事業」により、株式会社等設立団体1団体を目標値としております。</p> <p>その事業の具体的内容と目標数値について、お聞かせをいただければと思います。また、国の地方創生交付金の状況や各事業の財源など、現時点での状況等分かりましたら、お聞かせを願います。</p>
<p>事務局</p>	<p>観光センター等駅周辺整備事業につきましては、青森県から宮城県までの太平洋沿岸地域を結ぶ三陸沿岸道路（自動車専用道路 359km）が、平成32年度、全線開通予定とし、現在、急ピッチで整備が進んでおります。交通インフラが整備されると、大都市の経済力に、小都市の経済圏が引き寄せられ、小都市が衰退するという、ストロー現象がございます。</p> <p>道路の整備が進むにつれ、今後、ますます、その現象が拡大するものと考えられます。そのためにも、地域の魅力を高める取り組みが必要でございます。</p> <p>交通の便が良くなるということは、当然、他の地域とも近くなることとなります。普代村との接点を持つ人口も多くなるという意味では、外へ流出する可能性も十分ありますが、逆に、他の地域からも普代村へ訪れていただく機会が</p>

	<p>増えるという、チャンスでもあります。</p> <p>復興道路から、普代駅前や商店街、また、三陸ジオパークやみちのく潮風トレイルなど、村内観光地への新しい人の流れを創出する取り組みが、観光センター等駅周辺整備であり、まちづくり会社の設立目的であります。道の駅など地域振興を図る集客施設の整備と、地域経済の核となる組織の設立に向け、取り組んでまいりたいと考えております。</p> <p>目標とする数値は、新規起業者の4団体は、駅周辺整備事業によるものだけではなく、起業家教育や支援制度の創設、ソフト事業による目標数値となっております。また、株式会社等設立団体の1団体は、村が出資する会社の設立団体数を目標としているところでございます。</p> <p>2点目の、国の地方創生交付金の状況であります。27年度国の補正予算による交付金については、1,000億円の予算枠に対し、906億円を3月下旬に配分すると、先日、公表されました。</p> <p>本村におきましても、総合戦略に基づく、まちづくり会社の設立推進事業を申請しておりましたが、残念ながら不採択という結果でありました。改めて申請をし、4月以降の採択となるよう、事業内容をゼロから組み直し、取り組むこととしております。</p> <p>また、28年度からの地方創生交付金は、地域再生法に基づく計画により、その先進的な取り組みを支援することが目的とされておりますが、詳細な制度設計は、まだ示されていない状況であります。</p> <p>各事業の財源については、できるだけ国や県の補助事業を活用するものがありますが、その他、財政措置のある過疎債や辺地債などの起債を有効に活用し、後年度、将来負担を考慮した財源の確保に努めてまいります。</p> <p>ご質問のありました件については以上でございます。</p>
<p>会長</p>	<p>他にご意見・ご質問等はございませんでしょうか。</p> <p>協議事項（2）については、よろしいでしょうか。</p> <p>〔「異議なしの声」〕</p> <p>それでは、以上で本日の協議事項は、全て終了をいたしました。</p> <p>次からの進行は事務局にお返しいたします。</p>
<p>事務局 (道下)</p>	<p>ありがとうございました。</p> <p>次に次第5のその他でございます。</p> <p>これまでの協議事項を含め、委員の皆さまから、何かありましたらお願いいたします。</p> <p>(無いようであれば…)</p> <p>それでは、事務局から事務連絡がございます。</p>
<p>事務局 (中村)</p>	<p>●事務連絡</p> <p>事務連絡でございますが、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・28年度の本会議の進め方について <p>平成27年度の評価・改善の検証作業を本日、そして時期を年度末に行いま</p>

	<p>した。結果、事業進行中の部分などあり、本来の本会議の役割でございます、評価・改善作業に支障を来たす状況となっております。このことから、平成28年度におきましては、本会議を更に効果的且つ効率的に運営できるよう、村の決算報告が終了し、また、次年度への事業反映が可能となる開催時期を9月下旬から10月中としてまいりたいと考えておりますので、ご協力のほどよろしくお願いいたします。</p> <p>また、本日、午後5時30分から本会場におきまして、先般実施いたしました、先進地視察研修報告会と追手門学院大学さんの普代村人口減少対策に関する提言をプレゼンテーションいただく、普代村地域創生に関する報告会が開催されますので、ご都合の良い方は是非ご参加くださいますようお願いいたします。</p> <p>以上、事務局からの事務連絡でございました。</p>
<p>事務局 (道下)</p>	<p>●閉 会</p> <p>それでは、以上をもちまして、第4回普代村まち・ひと・しごと創生推進会議を終了させていただきます。</p> <p>長時間にわたりまして、ご審議を賜り、誠にありがとうございました。</p>